

ウチナーネットワークの次世代への継承についての報告

(一社) 世界若者ウチナーンチュ連合会

- 1、**海外の若者ウチナーンチュを束ねる団体として、世界若者ウチナーンチュ連合会を設立【2011年】**
 - ・これまで大きな課題となっていた「次世代への継承」を解決すべく、若者の組織を設立
 - ・若者国際会議を実施、7ヶ国参加（ネットワーク構築、発展目的）
 - ・他、県内若者を巻き込むことを目的とした取り組みを月1回実施

- 2、**次世代継承、ネットワークの構築を大きな目的とした「世界若者ウチナーンチュ大会」を実施【2012年～2018年】**
 - ・2012年～2016年の5年間は、次世代継承を最大の課題と捉え、毎年開催
南米（ブラジル）、北米（アメリカ）、欧州（ドイツ）、アジア（フィリピン）、沖縄
 - ・2017年以降は、2年に1回開催
南米（ペルー）
 - ・アイデンティティ継承、沖縄文化継承、ネットワークの発展を目的としたワークショップや次世代討論会などを実施

- 3、**沖縄県費留学生、市町村海外子弟研修生等のサポート【2012年～】**

- 4、**沖縄県内で沖縄移民のワークショップ等を実施【2012年～】**

- 5、**沖縄県費留学生・市町海外子弟村研修生・交流事業参加のOBOGで構成される海外の団体とのネットワーク強化【2012年～】**

世界若者ウチナーンチュ大会比較表						
項目	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第5回
テーマ	「肝合ら ウチナーぬ心 世界報までい」	「アメリカのウチナーンチュに火をつけよう」	「ヨーロッパに沖縄の種をうえよう」	「生まりジマぬ心 ウチナーぬ架け橋へ」	「我が要ウチナー 勇み風共に 走らせシムカヌ達」	「世界に響け、ウチナーの鼓動」
開催年月	2012年 7月25日(水)～29日(日)	2013年 7月18日(木)～21日(日)	2014年 7月30日(水)～8月1日(金)	2015年 9月10日(木)～15日(火)	2016年 10月20日(木)～23日(日)、29日(土)	2018年 2月6日(火)～10日(日) *11日はベルー沖縄祭りに参加
開催国	ブラジル連邦共和国 サンパウロ州	アメリカ合衆国 カリフォルニア州ロサンゼルス	ドイツ連邦共和国 ノルトライン・ヴェストファーレン州 デュッセルドルフ	フィリピン共和国 マニラ市	沖縄県内各地	ベルー リマ
参加人数	7カ国10地域以上 230名 南米 135名 (ブラジル、ペルー、ボリビア、アルゼンチン) 北米 3名 (アメリカ) アジア 1名 (香港) 沖縄 25名 オブザーブ 66名	8カ国10地域以上 151名 南米 15名 (アルゼンチン、ブラジル、ペルー、ボリビア、メキシコ) 北米 56名 (アメリカ、ハワイ) 欧州 1名 (イギリス) 沖縄 19名 オブザーブ 60名	4カ国37名 南米 1名 (ブラジル) 欧州 10名 (ドイツ、イギリス) 県外・現地集合 6名 沖縄 16名 オブザーブ 4名	6カ国7地域80名 南米 5名 (ブラジル4名、ボリビア1名) 北米 4名 (アメリカ4名:ハワイ2名、本土2名) アジア 9名 (韓国1名、フィリピン8名) 県外・現地集合 4名 沖縄 20名 オブザーブ 38名 (沖縄17名、フィリピン21名)	10カ国12地域以上 2334人(累計) 南米 72名 (ペルー20名、ボリビア20名、アルゼンチン16名、ブラジル16名) 北米 23名 (アメリカ20名:本土16名、ハワイ4名、カナダ3名) アジア 5名 (台湾4名、インド1名) オセアニア 1名 (オーストラリア1名) 他沖縄県内・県外	7カ国254名 南米 5名 (ペルー74名、ブラジル3名、アルゼンチン12名、ボリビア1名) 北米 4名 (アメリカ5名、カナダ2名) 県外・現地集合 3名 沖縄 20名 オブザーブ 130名以上 (沖縄2名、他ペルー)
開催場所	ブラジル沖縄県人会、ブラジル沖縄文化センター、サンパウロ州議会 他	Toyota Meeting Hall, Ken Miller Recreation Center, 他	Himmelgeister StraDe 107h, デュッセルドルフ市内、パリ市内、他	AIM Conference Center Manila, 他	さわふじ未来ホール、西原町中央公民館、中城村民体育館、21世紀の森体育館、西原町民体育館、勝連場跡、沖縄県市町村自治会館2階、他	ペルー沖縄県人会、日秘文化会館他
大会の目的	・アイデンティティの継承 ・沖縄文化の継承 ・失われつつある歴史や文化への再注目 ・グローバルネットワークの拡大、強化 ・国境を越えた理解と共感	・ウチナーアイデンティティの継承 ・グローバルネットワークの強化	・沖縄文化、アイデンティティの継承 ・グローバルネットワークの強化、拡大 ・次世代を担うグローバルリーダーの育成	本大会を通して、沖縄県内外の若者と「ウチナーネットワーク」とは何かを改めて考え、その必要性を認識し、世界と沖縄の架け橋となる次世代創出の場を創る。	・ウチナーネットワークの拡大と発展 ・地域に目を向けるアクティブな若者の創出	・ウチナーネットワークの拡大と発展 ・地域に目を向けるアクティブな若者の創出
大会の成果	・南米内のウチナーネットワークの強化、担い手の創出 ・沖縄県費留学生、市町村研修制度におけるサポート体制の設立 ・ボリビア国派遣教師制度再開に向けた活動の展開 (2014年8月ボリビアにてプロジェクトを実施)	・北米内のウチナーネットワークの強化、担い手の創出 ・若い世代の沖縄文化継承への意識向上 ・沖縄ファミリーマートのテレビCM関連508号線の制作 ・コーディネートをし、沖縄・海外にウチナーコミュニティーを発信(沖縄広告協会・広告賞グランプリ受賞)	・欧州内のウチナーネットワークの基盤立ち上げ ・世界若者ウチナーンチュ連合会支援実行委員会の設立 ・世界の兄弟に三線を贈ろう「三線プロジェクト」の設立(ドイツ沖縄県人会に10T寄贈、寄贈された三線は2015年8月琉球沖縄フェスティバルにて活用されている)	・北米、南米、アジア、沖縄の青年同士の絆が強化 ・沖縄にルーツを持つフィリピンの若者同士が初めて集い、沖縄文化継承への意識向上 ・世界の兄弟に三線を贈るプロジェクトとして、フィリピン沖縄県人会に三線を10T寄贈 ・沖縄県内41市町村が後援 ・第6回世界のウチナーンチュ大会に向けて、沖縄県内・海外の若者が連携する機会を創出	＜ウチナーネットワークに関すること＞ ①同じルーツのある海外参加者と県内参加者が繋がるキッカケとなった ②離島地区、沖永良部島の繋がりができた ③海外参加者同士が繋がるキッカケとなった ＜地域活性化に関すること＞ ④若者が地域活動に参加したいと考えるキッカケとなった ⑤41市町村と連携した取り組みの基盤ができた ＜その他＞ ⑥沖縄移民の歴史を若い世代に伝え理解を深めることができた ⑦ 世界のウチナーンチュ大会の次世代継承に向けて基盤づくりが出来た ⑧世界の兄弟に三線を贈るプロジェクトとして、ブラジル沖縄県人会と北米沖縄県人会に三線を10T寄贈	＜ウチナーネットワークに関すること＞ ①同じルーツのある市町村同士の交流を深めることができた ②海外参加者同士が繋がるキッカケとなった ＜地域活性化に関すること＞ ③4市町村が参加者を派遣し、市町村の架け橋となる人材を繋げることができた ④沖縄県主催の事業を委託し、年配の世代と若者が議論する機会を作り、キッカケを作ることができた ＜その他＞ ⑤実行委員以外の持ち込み企画を実施し、新たな展開を考えるキッカケとなった ⑥世界の兄弟に三線を贈るプロジェクトとして、ペルー沖縄県人会に三線を10T寄贈